

# グローバル人材育成のための大学の国際化と学生の双方向交流の推進



文部科学省

資料 3-1

2021.3.5

## 1. 大学教育のグローバル展開力の強化

令和3年度予算額（案）：43億円（前年度予算額：45億円）

### (1) 大学の体制の国際化

令和3年度予算額（案）：33億円  
（前年度予算額：33億円）

#### 「スーパーグローバル大学創成支援事業」

我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援。

- スーパーグローバル大学創成支援 33億円  
37件（トップ型13件/グローバル化牽引型24件）（2014年度-2023年度）

### (2) 教育プログラムの国際化

令和3年度予算額（案）：10億円  
（前年度予算額：12億円）

#### 「大学の世界展開力強化事業」

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援。

##### ●アジア高等教育共同体（仮称）形成促進（新規）

（2021年度-2025年度：21件）

- アフリカ諸国との大学間交流形成支援  
<交流推進型/プラットフォーム型>  
（2020年度-2024年度：8件）

- 日-EU戦略的高等教育連携支援  
<交流推進型/（プラットフォーム型）>  
（2019年度-2023年度：3件）

- COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援  
<交流推進型/プラットフォーム型>  
（2018年度-2022年度：10件）

- ロシア、インド等との大学間交流形成支援  
<交流推進型/プラットフォーム型>  
（2017年度-2021年度：11件）

## 2. 大学等の留学生交流の充実

令和3年度予算額（案）：335億円（前年度予算額：341億円）  
令和2年度第1次補正予算額：1億円 令和2年度第3次補正予算額（案）：7億円

### (1) 大学等の留学生交流の支援等

令和3年度予算額（案）：73億円  
（前年度予算額：80億円）

意欲と能力のある若者全員に留学機会を付与し、日本人留学生の倍増（6万人→12万人）を目指すため、**若者の海外留学への機運醸成を図る留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」の活動を推進**するとともに、学位取得目的の長期留学支援の拡充等により、留学経費を支援する。

- 大学等の海外留学支援制度 72億円  
<学位取得型> 大学院：252人 学部：160人  
<協定派遣型> 17,406人（渡航支援金896人を含む）  
<協定受入型> 5,000人
- 日本人の海外留学促進事業 0.8億円

### (2) 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

令和3年度予算額（案）：262億円（前年度予算額：261億円）  
令和2年度第1次補正予算額 1億円 令和2年度第3次補正予算額（案） 7億円

優秀な外国人留学生を確保し、内なる国際化を図る「留学生30万人計画」の実現に向け、海外での日本留学の魅力発信を強化するとともに、**「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」等を踏まえ、大学等における在籍管理の徹底を図りつつ、外国人留学生の国内就職に資する取組を支援**する等により、外国人留学生の我が国への受入れを促進する。

- 日本留学への誘い、入り口（入試・入学・入国）の改善 13億円  
・日本留学海外拠点連携推進事業 7拠点
- 受入れ環境づくり、卒業・修了後の社会の受入れ推進 237億円  
・国費外国人留学生制度 11,408人  
・留学生受入れ促進プログラム 7,119人  
・留学生就職促進プログラム 15拠点 等

# 大学の世界展開力強化事業

令和3年度予算額(案) 10億円  
(前年度予算額) 12億円



文部科学省

## 趣旨

世界的に学生の交流規模が拡大する中において、我が国にとって重要な国・地域の大学と質保証を伴った連携・学生交流を戦略的に進め、国際的通用性を備えた質の高い教育を実現するとともに、我が国の大学教育のグローバル展開力を強化する。

## 事業概要

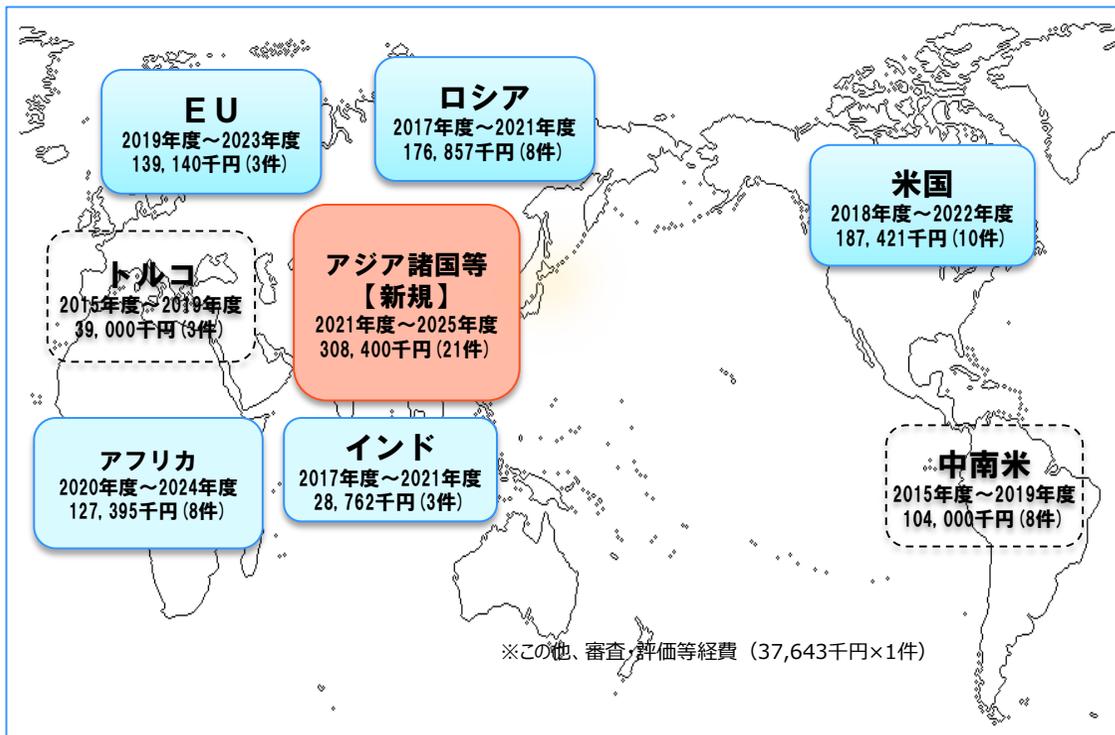
地域毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援。これら質の保証を伴ったプログラムにより、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。(事業期間：最大5年間)

## 取組例

- ✓ 先導的・大学間交流モデルの開発
- ✓ 高等教育制度の相違を超えた質保証の共通フレームワークの形成
- ✓ 単位の相互認定、共通の成績管理の実施
- ✓ 学修成果や教育内容の可視化

## 成果

1. 学生交流増による、留学生30万人受入、日本人学生12万人海外派遣（2020年まで）達成への貢献
2. 海外連携大学との教育プログラム構築・実施に伴う我が国大学のグローバルな展開力の強化
3. 交流の相手国・地域との平和的友好関係の強化



# 大学の世界展開力強化事業プログラム一覧

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

## キャンパス・アジア&ASEAN&米国等

25件、22機関（実績：派遣4,820人、受入3,604人）

※機関数は、日本側参加機関（短期大学等を含む）。



**ASEAN** 14件、15機関（実績：派遣3,744人、受入3,109人）

### AIMSプログラム※

※東南アジア教育大臣機構が実施する学生交流プログラム  
7件、11機関（実績：派遣758人、受入812人）

### ICI-ECP ※

※日EU共同学生交流プログラム  
5件、15機関（実績：派遣132人、受入144人）



### ロシア・インド（H26採択）

9件、8機関（実績：派遣1,170人、受入1,296人）



### ロシア・インド（交流推進/プラットフォーム構築型）

11件、12機関（H29～R1実績：派遣715人、受入625人  
R2～R3計画：派遣582人、受入560人）



### 中南米 & トルコ

11件、21機関（H27～H30実績：派遣1,205人、受入1,324人）



### アジア諸国

25件、23機関（H28～R1実績：派遣3,184人、受入2,786人  
R2計画：派遣 888人、受入 843人）



### 米国等（COIL型）（交流推進/プラットフォーム構築型）

10件、13機関（H30～R1実績：派遣 733人、受入 556人  
R2～R4計画：派遣1,431人、受入 982人）



### EU

3件、5機関  
R1～R5 計画：派遣82人、受入102人

### アフリカ

8件、9機関  
R2～R6 計画：派遣382人、受入190人

## 交流実績（延べ）2011年～2019年

派遣 約16,000人  
受入 約14,000人



**背景**

- アジアの著しい成長（世界の約60%の人口、約36%のGDP）
- 世界的な学生のモビリティ向上と国際的な人材獲得競争
- コロナ禍による新たな国際教育交流の進展

**趣旨**

モビリティ促進の基盤となるルールメーク、質の保証を伴った大学間・学生交流の促進を通じ、我が国が調和のとれたアジア高等教育共同体（仮称）構築を主導し、アジアや世界の平和的発展への貢献を目指す

## 事業概要【補助期間：最大5年間（2021年度～2025年度）】

### 調和のとれたアジア高等教育共同体（仮称）の構築

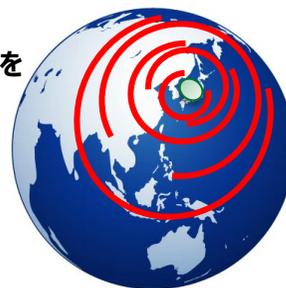
#### 1. ポストコロナにおける国際質保証に関する制度設計（ルールメイキング）を主導（28,400千円@質保証機関）

日中韓及びASEAN地域において相互に連携・協力しながら共通の質保証基準を作成することで、アジア高等教育共同体（仮称）形成に寄与

#### 2. オンライン交流も活用しつつ、JD（※）やDDを通じ、キャンパス・アジアの発展・拡大に取り組む事業（280,000千円）

政府間合意に基づき、将来にわたる友好関係の基盤である教育交流を促進

- ①日中韓三か国で発展的なキャンパス・アジアプログラムを実施（14,000千円×10件）
- ②日中韓の取組をアジア各国・地域（特にASEAN）に拡大（14,000千円×10件）



#### ルールメイキング

単位互換、質の保証、学位の相互認証、資格のデジタル化等において、**ルールメイキングを主導する**

#### プログラム・モビリティの確立

- アジア高等教育共同体の理念をアジア各国・地域に拡大していくための下地となる、日中韓とアジアとの大学間・学生交流プログラムの実施を支援
- 大学間で連携し、戦略的な情報発信・普及や、採択校間の情報交換を促進

※制度改正を前提とした、国内複数大学が参画するJDも想定。

### アジア高等教育共同体構築のねらい

#### 中国・韓国との関係性

○ASEANが緩衝帯としての役割を果たすことで、アジア全体の平和的発展を目指す。

#### ASEANとの関係性

○成長が著しく学生市場も大きいASEAN地域と、将来にわたる友好関係の基盤となる教育交流を行うことで、人材・市場獲得競争に資する。

#### 第8回日中韓サミット（2019年12月24日、中国・成都）

キャンパス・アジアをアジアに拡大し理念を共有すべく、盛り上げていきたい。

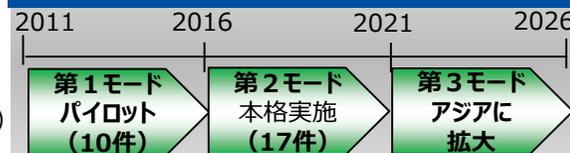
#### 第22回ASEAN+3首脳会議（2019年11月4日、タイ・バンコク）

APT（ASEAN+3）加盟国の間で、質の保証を伴った学生の流動性を可能にする環境及び手段を創出する必要性を改めて表明。

#### 第22回日・ASEAN首脳会議（2019年11月4日、タイ・バンコク）

教育、文化、スポーツを始めとする幅広い分野で交流を促進していきたい。

### キャンパス・アジア3モードの拡大計画（年度）



成果

我が国のプレゼンスの向上

日アジア諸国間の架け橋人材育成

大学間国際ネットワーク強化

外交・安全保障への貢献

アジアの平和的発展

CA交流（派遣・受入）実績各2700名以上